

SUNTORY

サントリーのサステナビリティ経営と 水循環への取り組み

2024年6月19日
サントリーホールディングス株式会社
サステナビリティ経営推進本部
生物多様性統括・水グループ 部長
瀬田玄通

サントリーグループ概要

■ サントリーホールディングス株式会社

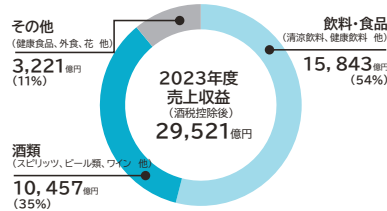
創業 : 1899年
代表取締役会長 : 佐治 信忠
代表取締役社長 : 新浪 剛史
連結売上収益(酒税控除後) : 29,521億円 *1
連結売上収益(酒税込み) : 32,851億円 *1
連結営業利益 : 3,172億円 *1

*1 : 2023年1月1日～2023年12月31日

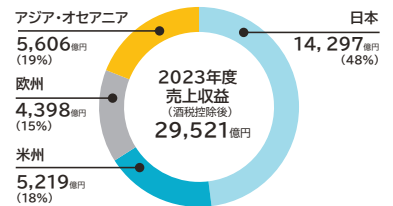
■ 商品・サービス



■ 事業セグメント別売上



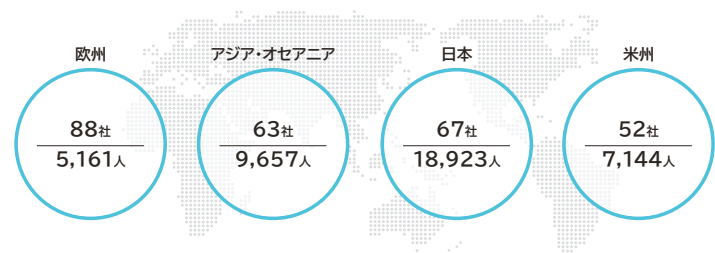
■ 地域別売上

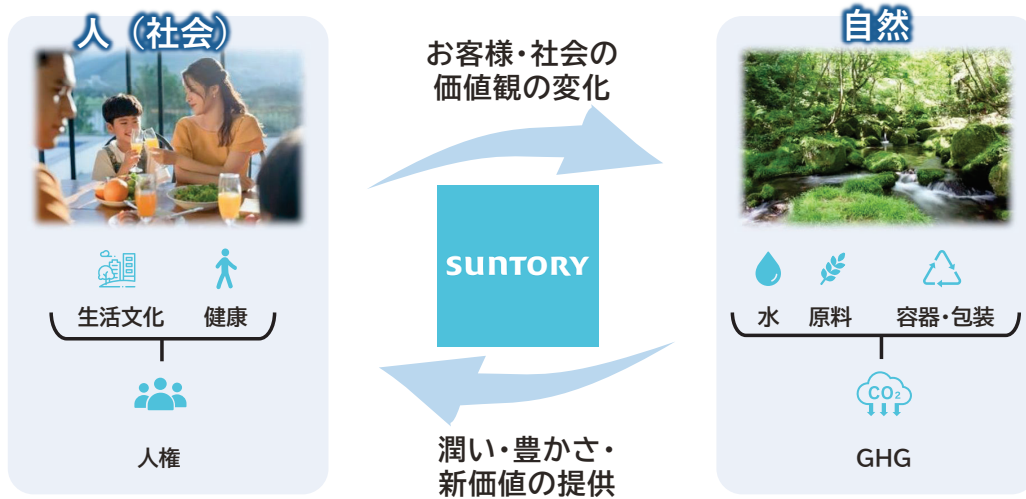


■ 地域別グループ会社数／従業員数

グループ会社数 : 270社 *2
従業員数 : 40,885人 *2

*2 : 2022年12月31日現在

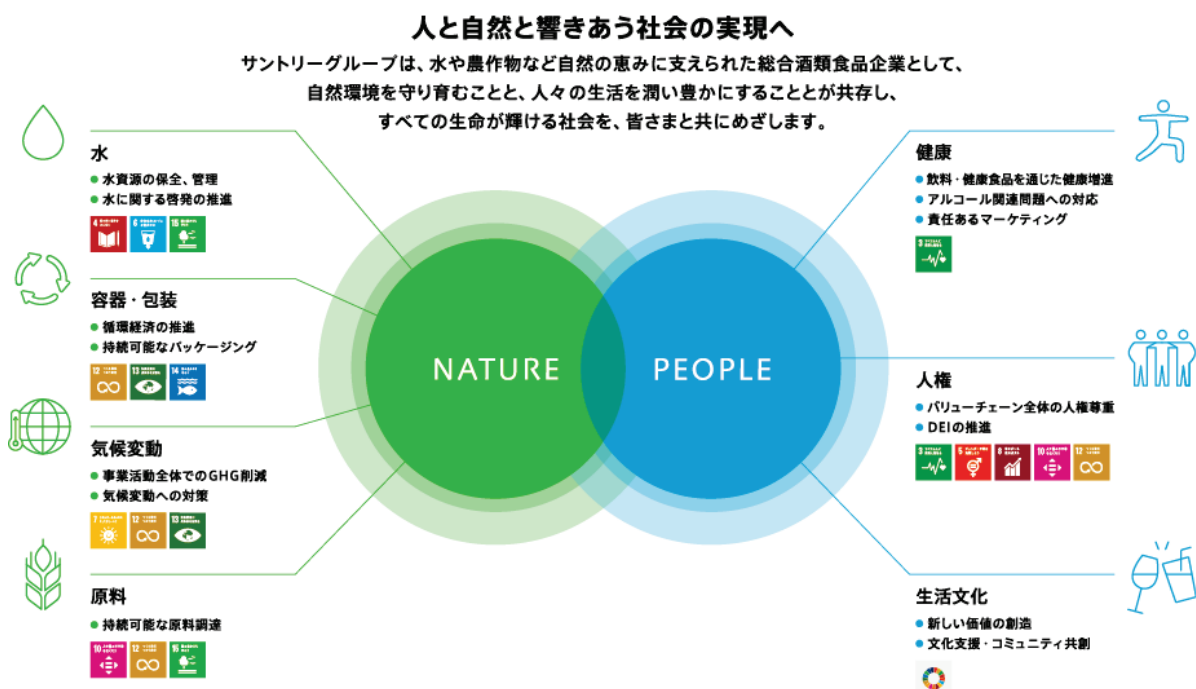




水や様々な農作物原料といった自然の恵みを、その時代や地域のお客様・社会のニーズに合わせて価値に変えていくことが事業の基本

COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

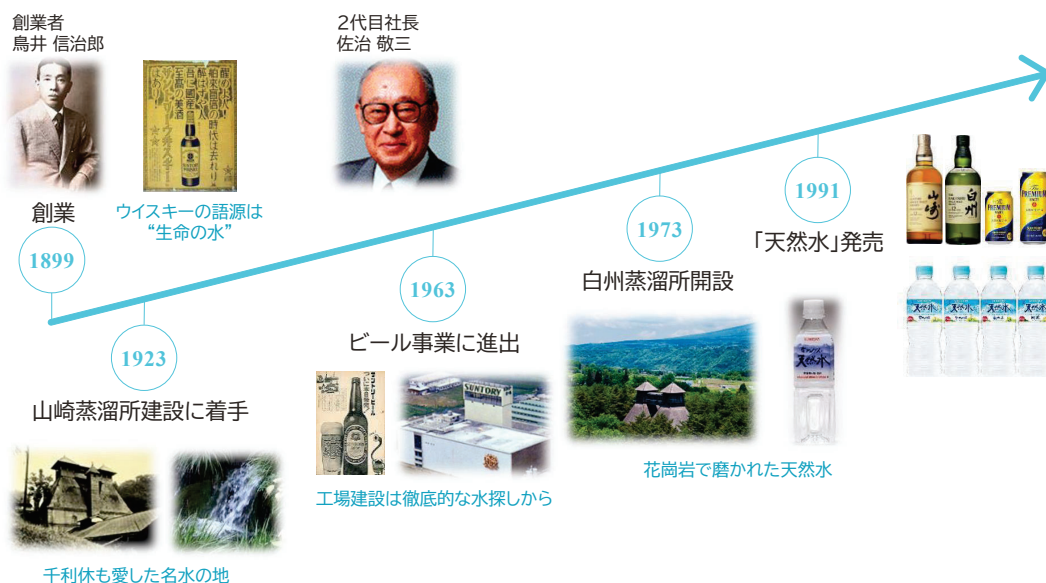
3



COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

4

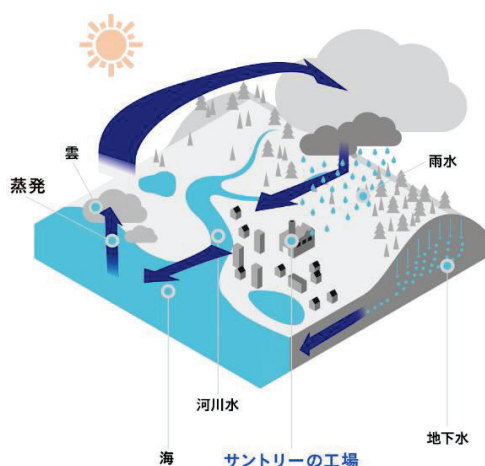
その土地が育む良質な水とともに価値を創造



COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

5

サントリーグループ「水理念」



サントリーグループ「水理念」

2017年1月制定

1.水循環を知る

使用する水の循環について科学的アプローチに従って流域を調べ、理解を深めます。

2.大切に使う

水の3R(Reduce/Reuse/Recycle)活動を通じて節水に努め、浄化した水は自然に還し、環境インパクトを軽減します。

3.水源を守る

サステナブルな未来を実現していくため、ステークホルダーと協力しながら使用する水の水源保全に努めます。

4.地域社会と共に取組む

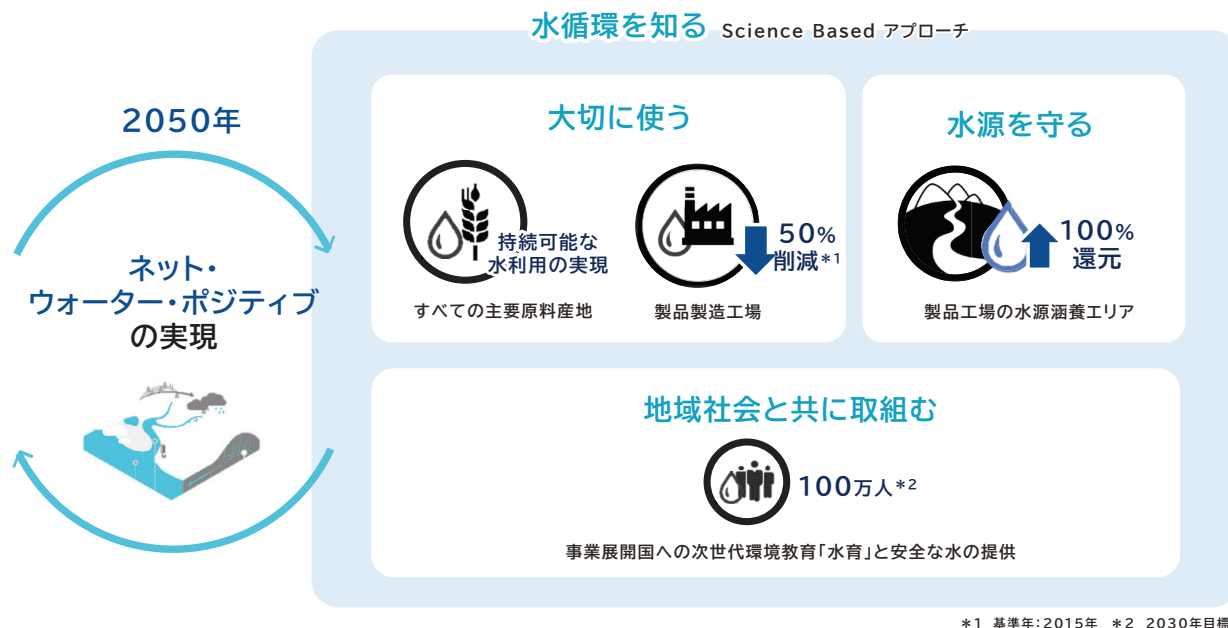
社会が豊かになるように、水課題の解決への貢献を通じて地域コミュニティを支援します。

サントリーグループ環境基本方針：

バリューチェーン全体を視野に、事業を展開する各地域で自然界における水の健全な循環に貢献するため、事業活動において最も重要な資源である水を大切に取り扱い、使用する量以上の水を地域で育むことに努めます。

COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

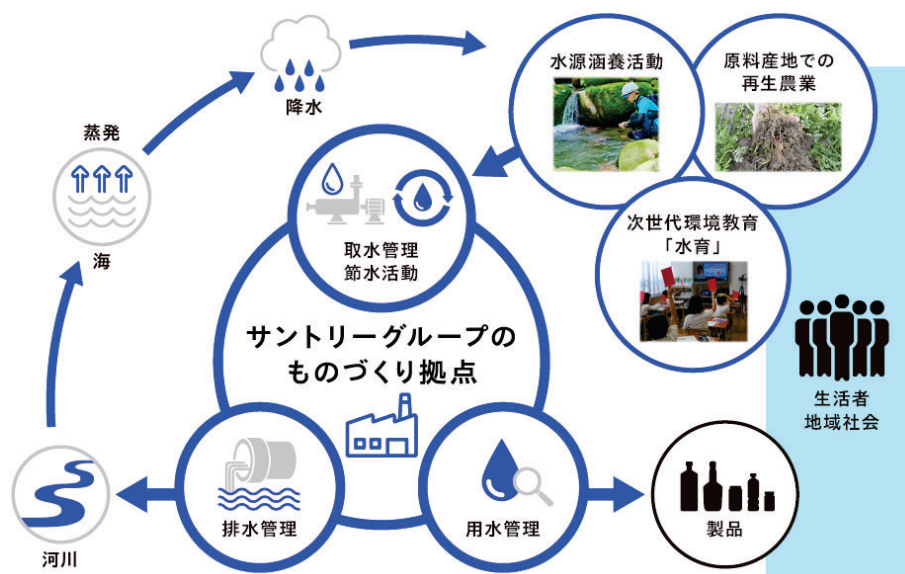
6



COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

7

健全な水循環を守る水のサステナビリティ活動を地域とともに推進



COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

8

九州熊本地域における水のサステナビリティ活動の事例



上流



COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

9

水使用量の削減

SUNTORY

環境目標 2030



工場節水

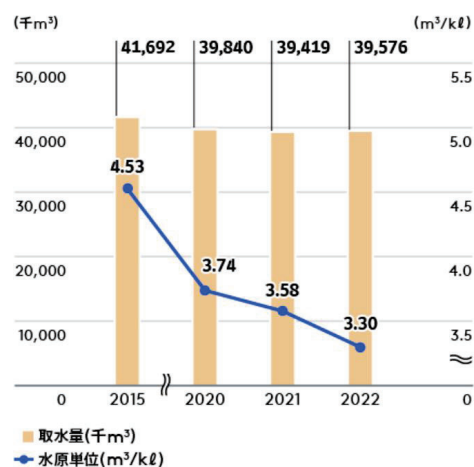
自社工場^{※1}の水使用量の原単位をグローバルで**35%削減^{※3}**。特に水ストレスの高い地域においては、水課題の実態を評価し、水総使用量の削減の必要性を検証。

2022年実績

- 原単位15年比**28.0%削減**

※1 最終製品を製造する自社拠点
※3 2015年を基準年として

水使用量削減実績の経過



※ 原単位は製造1klあたりの使用量を表す
※ 2022年は国内生産27工場、海外生産62工場が対象

COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

10

環境目標 2030



水源涵養

自社工場^{※1}の半数以上で、水源涵養活動により使用する水の**100%以上**をそれぞれの水源に還元。特に水ストレスの高い地域においてはすべての工場で上記の取り組みを実施。

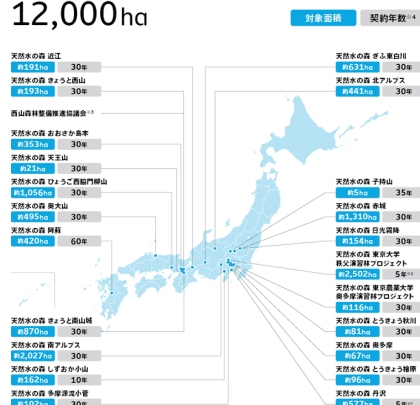
2022年実績

- 全世界の自社工場の**34%**で水源涵養活動を実施
- 水ストレスの高い地域にある工場においては、その**30%**で活動を実施

「サントリー 天然水の森」活動

全国15都府県 22カ所(2023年2月時点)

12,000ha








地下水涵養量 工場での地下水取水水量

日本ではウォーター・ポジティブを実現

COPYRIGHT © SANITORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

「サントリー 天然水の森」－放置人工林の間伐による林床植生の回復－



手入れされず放置された人工林



1回目の間伐後

伐採木を等高線上に並べて
土留めと種子の止まり木とする

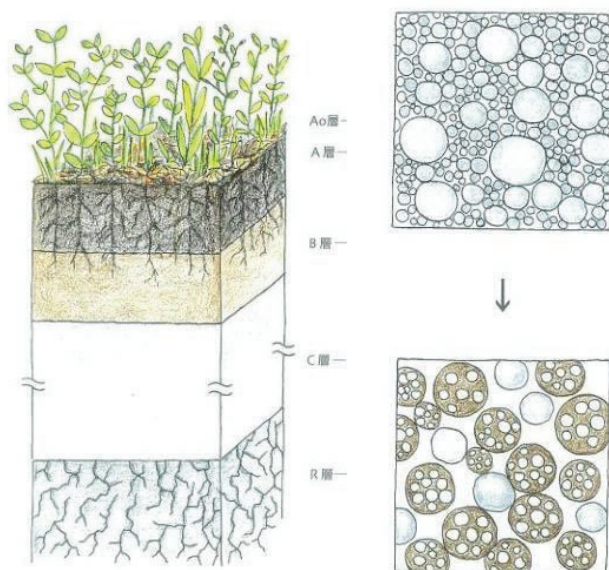


▶ 林床植生の回復

2回目間伐以降は林床植生の
障害とならないよう材を搬出

COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED

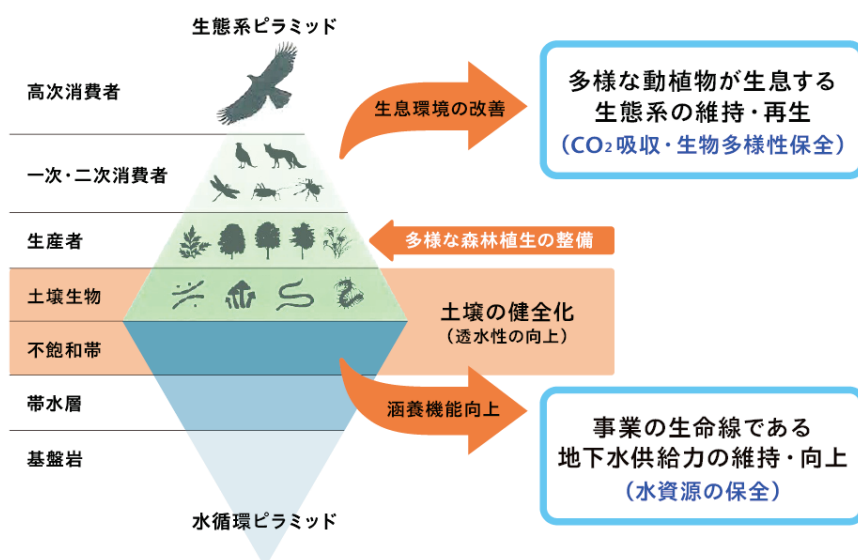
12



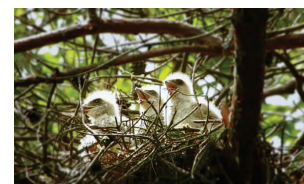
砂や粘土だけの無機質の土は、隙間なくぎっしり詰まっているため、水が浸透しない

- 一方、森の中で、落ち葉や草の根などの有機物が供給されると、土壤動物や微生物の力で土が団粒化し、フカフカの手触りに変わっていく
- スポンジようになった土壌には雨水が浸透しやすくなり、また微生物的な水質浄化機能も高まる

地下水涵養力の高い森は生物多様性に富んだ森とほぼイコールである



ワシ・タカ子育て支援プロジェクト



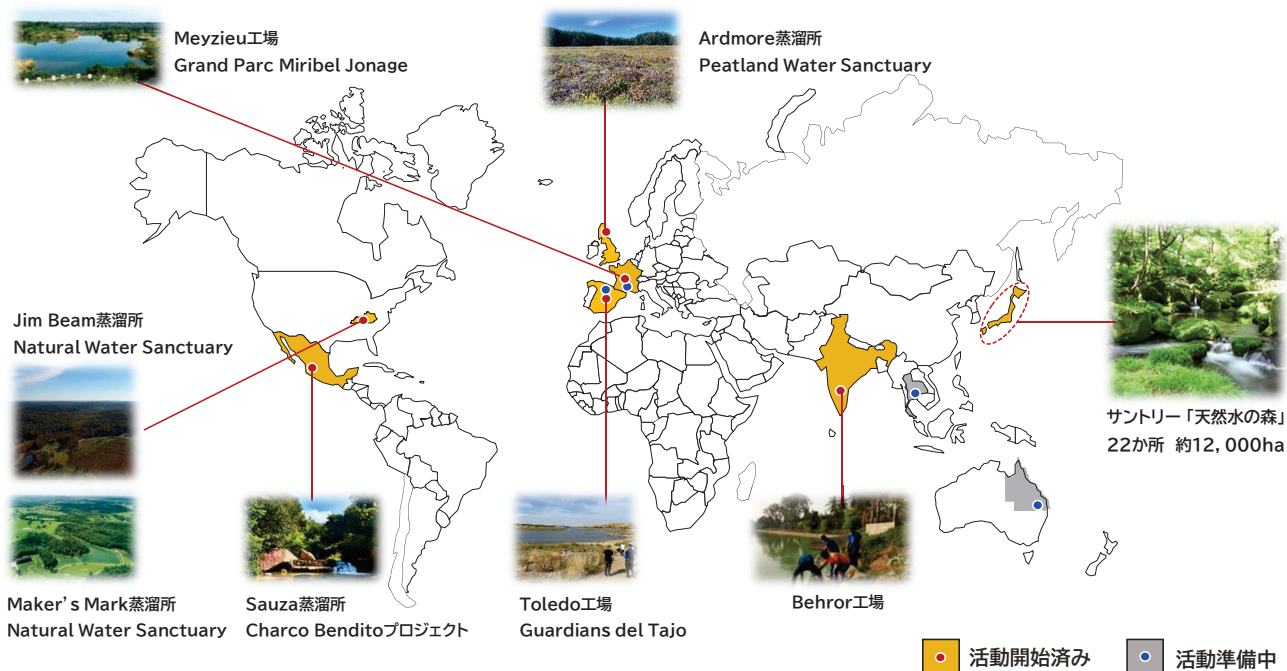
環境省が「30by30」目標達成に向け推進する「自然共生サイト」に「天然水の森」の5カ所が認定



「サントリー 天然水の森 ひょうご西脇門柳山」(兵庫県西脇市)
 「同 とうきょう秋川」(東京都あきる野市)
 「同 しずおか小山」(静岡県駿東郡小山町)
 「同 日光霧降」(栃木県日光市)
 「同 近江」(滋賀県瀬田郡日野町)

世界に広がる水源涵養活動

SUNTORY



COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

15

原料産地での取組み

SUNTORY

環境目標 2030



原料生産

水ストレスの高い地域における水消費量の多い重要原料^{*4}を特定し、その生産における水使用効率の改善をサプライヤーと協働で推進。

2022年実績

- 再生農業による大麦生産の取り組みの一環として、土壌の保水性向上による水使用効率の改善に関する検証をサプライヤーと協働して開始
- ブラジル・セラード地域のコーヒー農家に対して、再生農業を通じた水利用の評価・支援等を行うパイロットプログラムの構築を開始

大麦産地における再生農業パイロットの例

【推進体制】



【インパクト】

約 **400** エーカー

1,000 トンの麦芽調達

2024 から使用開始

COPYRIGHT © SUNTORY HOLDINGS LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED.

16

環境目標 2030



水の啓発

水に関する啓発プログラムに加えて、安全な水の提供にも取り組み、合わせて**100万人**以上に展開。

次世代環境教育「水育」とは

子どもたちが、自然のすばらしさを感じ、水の大切さに気づき、未来に水を引き継ぐために何ができるかを考えるきっかけとなる。

mizuiku

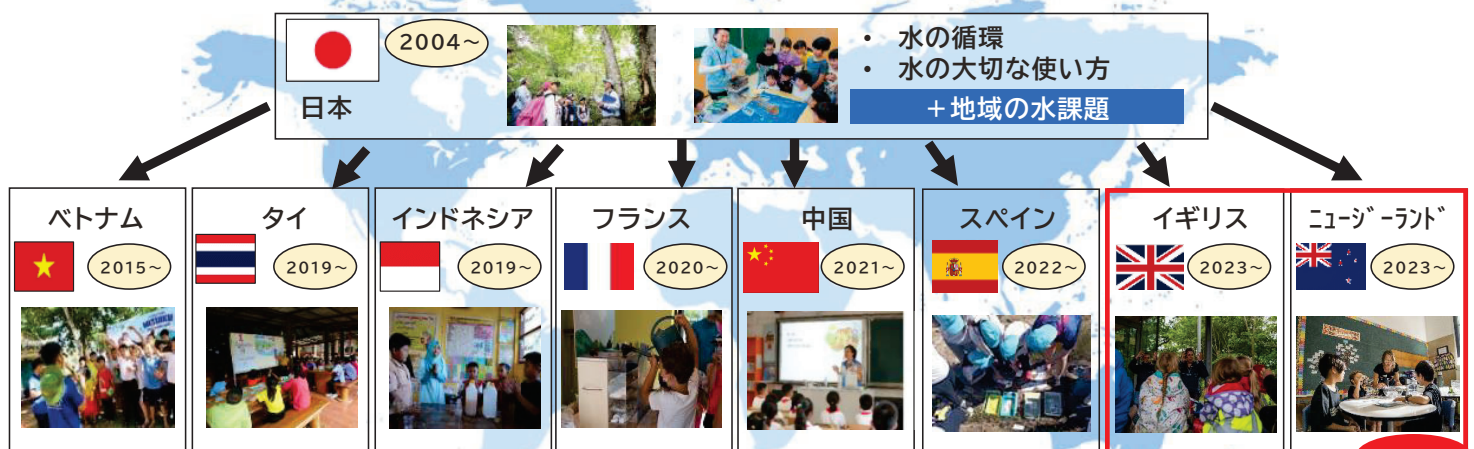
2022年実績

- 累計**81万人**に展開
次世代環境教育「水育」などの水啓発プログラム：51万人
安全な水の提供：30万人

教育内容

- 水の大切さと水循環を理解してもらう
- ローカルな水課題を理解してもらう
- 水に関する課題を子供たちから周囲にも共有し、地域社会の意識変容に繋げる

地域を超えた普遍的な教育プログラムとしてアジア、欧州に広く展開





水と生きる SUNTORY



Harumichi_Seta@Suntory.co.jp